

北欧青年交流事業

事業の目的

- 北海道の次世代を担う高校生を、地球規模の課題に取り組むことの出来るグローバルな人材へと育成すること。

方法

- オンライン交流を通して、スウェーデンのカテドラル高校の高校生の皆さんと、英語で相互の国のプレゼンテーションや様々な分野のディスカッションを行いました。

感想

今のグローバルの時代に求められることはどういう事なのか考え抜いたこの3ヶ月間、私は本当にたくさんのことを学びました。まず1つ目は新しい発見が出来たことです。自分自身では考えつかなかった、スウェーデンの高校生が持つ異なる視点や、文化や習慣の違いに気付かされ、お互いにそれを尊重し合い、共感し合う事が出来ました。そして交流を深めていく中で、日本に足りないことは何なのか、スウェーデンから見習うべきことは何なのかを学ぶことが出来ました。（例えば、スウェーデンは学費が無料な事、スウェーデンはペットボトルをリサイクルしたら 10

円が貰える制度があったり、日本の女性議員が 10%にも満たないのに対してスウェーデンは 50%であること。)

2 つ目は、コミュニケーションを取ることの大切さを身をもって実感しました。今回、私が 1 番成長出来たなと思う所は、英語を喋ることを恐れなくなったことです。自分の伝えたいことを伝えられずに後悔したくないと思い、たとえ完璧な英語では無くても、自分の考えを言葉や行動にして伝える努力をしました。更には画面上でも伝わるように相手に反応することや、笑顔でハキハキと喋ることも意識しました。色々な分野の話を繰り広げ、会話が弾み、私は英語を喋ることの楽しさを覚え、英語を喋ることが大好きになりました！

3 つめは、グローバルシチズンシップを育むことが出来ました。常に次世代に良い社会を残そうという強い気持ちを持ち、自分が地球社会の一員として責任を持ってこの交流に臨みました。多種多様な価値観やアイデアを得ながら作りたい未来を思索していくことは貴重な経験になりました。この経験をさらに自発的な行動に繋げることが私の目標です。この経験を更に活かして社会に貢献していきます！

2 年 3 組 伊豆田はな